

会 議 録

会 議 名	第2回知立市総合公共交通会議
日 時	平成30年 8月16日(木) 10時00分～12時10分
場 所	知立市中央公民館 中会議室
次 第	<p>1.開会</p> <p>2.あいさつ</p> <p>3.報告事項</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) ミニバスの利用状況について 【資料1】</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) 乗車料金種別調査の結果について 【資料2】</p> <p>4.協議事項</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 知立市地域公共交通網形成計画(素案)について 【資料3】</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) 住民懇談会の開催について 【資料4】</p> <p>5.その他</p> <p>6.閉会</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第、委員名簿、座席表 ・会議説明資料(資料1、2、3、4) ・当日配布資料(資料3差し替え資料・女性限定バス運転体験会チラシ・中部地区バス運転士合同就職説明会チラシ)
出 席 者	<p>【委員】 山崎委員((公財)豊田都市交通研究所主幹研究員)</p> <p>小林委員((公社)愛知県バス協会専務理事)</p> <p>植田委員(愛知県タクシー協会理事)</p> <p>吉岡委員(名鉄バス(株)営業本部運行部運行課長)</p> <p>荒川委員(愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事)</p> <p>磯貝委員(知立市身体障害者福祉協議会副会長)</p> <p>堀委員(知立老人クラブ連合会会長)</p> <p>安井委員(区長会会計)</p> <p>岩城委員(知立市商工会女性部長)</p> <p>櫻井委員(公募市民)</p> <p>二輪委員(中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>榊原委員(愛知県振興部交通対策課主幹)</p> <p>夏目委員(愛知県安城警察署交通課長)</p> <p>鈴木委員(愛知県知立建設事務所維持管理課長)</p> <p>尾崎委員(知立市都市整備部長)</p> <p>近藤委員(知立市土木課長)</p>
欠 席 者	河合委員(名古屋鉄道(株)東部支配人室営業総務課長)

内容（概要）

1.開会

（司 会） 定刻となりましたので、ただいまより平成30年度第2回知立市総合公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議出席者は16名、全委員17名の過半数を超えておりますので、当会議は成立していることを報告いたします。それでは、会議に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。

本日お配りした「次第」、「委員名簿」と「座席表」の両面のもの、カラー刷りのミニバスガイド、事前に送付させていただきましたホッチキス止めになっている「平成30年度第2回知立市総合公共交通会議資料」、と併せて送付させていただきました「知立市地域公共交通網形成計画の素案」です。また本日追加で皆さんのお手元に配布させていただきました資料3の差し替え資料が1枚とバス運転士募集のチラシとバス運転体験会のチラシを配布させていただいております。

それでは、事務局を代表しまして、林市長よりご挨拶申し上げます。

2.あいさつ

（市 長） 失礼いたします。本日はご多用の中、第2回になります知立市総合公共交通会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。

ご案内のように知立駅周辺では、市民の皆様にご理解をいただきながら、様々な工事が進んでおります。100年に1度のまちづくりと題しまして、鉄道高架事業や区画整理事業、再開発事業、街路事業、公園整備など様々な工事を実施させていただいております。先ごろ、駅の目の前にございます駅北地区の21階建ての知立市で最も高いビルが建ってまいりました。来年1月にオープンと聞いており、「エキタス知立」という名称が市民公募によって決まりました。益々大きな期待がかかるところでございます。

こうした知立駅周辺の整備が進む中で、この会議においては、鉄道や路線バス、ミニバス、タクシーといった公共交通を持続可能にすべく公共交通網形成計画の作成をしていただくのをお願いしていくところでございます。これからミニバスをはじめとした公共交通は高齢社会が進んでいくなかでさらに重要になってくる、期待が高まってくるものでございます。どうぞよりよい公共交通網形成計画を皆さま方のお力で作成をしていただきますようお願いを申し上げます。本日もよろしく申し上げます。

また本日はよいとこ祭りのうちわを配らせていただきました。8月25日に市役所周辺、知立中学校のグラウンドをお借りして行います。知立中学校のグラウンドでは、知立神社の境内でしか見られない手筒花火等も行われる予定でございます。市役所バス停や市役所南バス停がございますので、ぜひミニバスを使っただいて、よいとこ祭りにお誘い合わせてお越しいただきたいと思っております。

(司 会) ここで第2回の会議から新たに委員になられた方がいらっしゃいますので事務局よりご紹介をさせていただきます。

【小林委員、吉岡委員、岩城委員の紹介】

本日の会議では、報告事項としてミニバスの利用状況について、乗車料金種別調査の結果についてのご報告と、協議事項として、知立市地域公共交通網形成計画（素案）について、住民懇談会の開催についてのご審議をお願いいたします。この会議において、市民の皆様にとりましてより便利なミニバスが運行できるよう委員の皆様方にはさらに協議を重ねていただきたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。ここからの議事進行につきましては、議長の山崎会長に交代させていただきます。よろしくお願いいたします。

3.報告事項

(議 長) 豊田都市交通研究所の山崎でございます。蒸し暑い中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ここに来る時は三河知立駅で降りて歩いてくるのですが、たまには知立駅まで行って、街がどう変わっているか見ないといけないと思っているのですが、つつい近いものですから三河知立駅を利用してしまいます。市長のお話にもありましたように、100年に1度のまちづくりということで、確か渋谷も同じように掲げていたかと思います。バスというのはバスに乗ることが目的ではなくて、お出かけの目的があって、その移動手段として使われるものです。駅がきれいになって、駅前の魅力が上がると、高齢者の方が家に引きこもらずに、少し駅の周りを出かけてみようということになって、バスを使ってお出かけをする姿が理想的かなと思っています。大切なのは箱物をきれいにしても、使い方をしっかり考えていかないと魅力的な街にならないというのがまちづくりの基本的な考え方としてありますので、市長には是非知立駅の周りで市民が楽しく集まれて、バスを使っただけけるように考えていただければと思っていますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿いまして報告事項（1）ミニバスの利用状況について事務局より説明をお願いします。

(事務局) **【資料1に基づき説明】**

(議 長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。

(委 員) 資料2ページ目のミニバスの乗車人員集計表において、3コースの乗車人員が減少しているということですが、これについての原因について把握されていますか。

(事務局) 3コースを利用している乗客の年齢層は他のコースと比較して若くなっています。東刈谷駅に通じているため通勤・通学を目的とした利用が多いと考えられます。後期高齢

者ミニバス運賃無料化事業や運転免許証自主返納者への支援事業の影響が、乗客の特性からして大きくなかったのではないかと考えています。また曜日別に傾向を把握してみましたが、特定の曜日のみ減少しているということもありませんでした。次に便別に見てみましたところ、全体的に減少傾向ではありましたが、お昼時の乗車人員が減少している傾向が確認されました。最後にバス停別に見てみますと、谷田公園バス停や新林保育園西バス停の乗車人員が減少傾向となっています。いつもこのバス停を利用される方が減っているのではないかと思いましたが、明確な原因については分かっておらず、申し上げられません。

(委員) 今後、公共交通網形成計画を作成し、再編実施を行っていくことになるかと思うので、分析したうえで、今後の公共交通網形成計画を考えていただく必要があると思います。

(議長) 特定のバス停で減少が見られるということで、そのバス停を日常的に使っていた方が何らかの理由で使わなくなったという可能性はあるかと思います。もう少し具体的な原因が分かれば、今後の網計画の中で、それを踏まえていただければと思います。乗車人員が減少しているバス停があるということで、運転士さんに何か意見を聞きましたか。

(事務局) 確認はとらせていただきましたが、特にいつも利用されている方が見えなくなったとか、特定の原因については思い当たることはありませんと聞いております。

(議長) 分かりました。他にいかがでしょうか。それでは、報告事項(2)「乗車料金種別調査の結果について」ということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) **【資料2について説明】**

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありませんか。資料1ページの下の方には、市負担の乗車料金(4ヶ月分の推定)とあります。約300万円が市の他の部署から、福祉施策として支払われるということで、収入は約100万円減少しているところですが、運賃合計としては、約200万円が増加しているということですね。

(事務局) その通りです。全体的な運賃としては増加しているということです。

(議長) 他にはいかがでしょうか。それでは、報告事項としては以上になります。続きまして協議事項に入っていきたいと思います。協議事項(1)「知立市地域公共交通網形成計画(素案)について」ということで事務局より説明をお願いします。

4.協議事項

(事務局) 【資料3に基づき説明、11ページは当日資料に差し替え】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。ボリュームがあるものですから、部分ごとに分けて考えていきましょう。1ページ目からの「3. 知立市における地域公共交通の課題」についていかがでしょうか。

(委員) 2・3ページ目の市民等の多様な移動ニーズへの対応ということで、名鉄バスの愛教大線や中部国際空港へのアクセスバスを広域的なバス路線として位置付けているかと思いますが、ミニバスとの関連が目立っていないと感じました。もう少し公共交通を利用促進していく中において、連携を図りながら取り組んでいったほうが良いのではないかと思います。例えば、ミニバスの主要バス停間のODを表した図がありますが、刈谷に幹線バスが通じていたかと思います。それについては見当たらないというところと、知立市自体がコンパクトな市ということで、刈谷に向かう方も多いかと思いますが、あまり触れられていないような印象を受けますが、いかがでしょうか。

(事務局) まず路線バスの位置付けについてですが、愛教大線、空港線ともに知立駅を発着としております。ミニバス全路線も知立駅を発着としている体系となっております。全てが知立駅を結節点として運行させていただいているという中で、そこでの乗り継ぎをされている方もみえると思いますので、このことから連携していると考えています。それと、JR東刈谷駅との乗り継ぎについてですが、JR路線へ通じているミニバスはオレンジコースが東刈谷駅に、ブルーコースは野田新町駅に接続している状況です。特に東刈谷駅におきましては、多くの方が利用している実績も出ていますので、そういった面で知立からJRに乗っていただく方もいるのかなというところで連携を図っている状況でございます。

(委員) 東刈谷駅については分かります。路線の重複などの要因があるかと思いますが、刈谷駅については空港線があるので、ミニバスは通していないということですか。

(事務局) 鉄道でいうと、三河線では知立駅から刈谷駅に直接向かえるという位置付けと、東刈谷駅では刈谷市のコミュニティバス、安城市のコミュニティバスに接続しており、野田新町駅でも刈谷市のコミュニティバスに接続がされているところから、乗り継ぎがされていると考えております。

(議長) 刈谷駅は三河線の本数も多いので、鉄道という幹線で結ばれているということがあるかと思います。知立駅と東刈谷駅間での利用が多くなっており、刈谷駅に関しては鉄道が幹線として走っているということですね。

(委員) 住民の方が鉄道を利用して刈谷駅に向かうのは想定できますが、その他の公共交通を使つての移動についてはあまり見えてこないと思いました。

(事務局) 2ページに市外で行きたい場所ということで、全て刈谷市の場所となっています。1位がハイウェイオアシス、2位が刈谷豊田総合病院、3位が刈谷駅というところで、私どもがご意見としてよく伺っているのが刈谷総合病院に行きたいというご意見をいただいています。このことから、知立市から直通を出すのか出さないのかという検討の中で、東刈谷駅からは刈谷市のバスとの乗り継ぎができるという状況を作りまして、そこからは乗り継いでご利用くださいという位置付けにさせていただいております。刈谷総合病院までミニバスを通しますと、相当な時間がかかってしまいます。市内の巡回について手薄になってくるということもありますので、現在ミニバスは市内を運行するという位置付けの中で、乗り継いでいただくポイントを作つて対応していく考えで進めさせていただいている状況です。

(議長) 「3. 知立市における地域公共交通の課題」だけではなく、「4. 持続可能な地域公共交通の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針」や「5. 計画の区域と計画期間」においても何かご意見・ご質問ありましたらお願いします。ミニバスを中心とした市内の公共交通網は、利用者が横ばいになりつつも安定した状況にあります。このサービスを維持しながら、使っている人に便利なもの、安全で利用しやすいものになるようにしていくというのが、基本的な方針であるかと思います。計画期間についてですが、他の上位計画も踏まえて8ヵ年の計画とするということですが、他の市町で作られるような網形成計画ですと、もう少し短いですね。

(委員) 8ヵ年の計画期間ということで、23ページのアクションプログラムについては毎年目標値を定めていきますか。

(事務局) あくまでも目標が最終年での目標という設定になっておりますので、途中の目標値というのは設けず、実施計画の中でどれだけのアクションプログラムを遂行できたということで評価させていただきたいと思います。

(委員) ありがとうございます。ただ、言いたかったのは何か指標がないと進んでいるかどうか分からないということです。

(議長) 評価指標の数字の話もありますし、それぞれ掲げている実施内容や具体的な施策に対して、何をやったかやっていないかについては、この会において確認していくことかと思ひます。

(委員) 通常は公共交通網形成計画の計画期間として、5ヵ年という期間を設定しているところが多いです。ですが、絶対に5ヵ年というわけではありません。そもそも公共交通というのは、まちづくりと密接に関係しています。上位計画や知立市のまちづくりの計画

もありますので、最終的にまちが出来上がった段階で、どういう状態で公共交通を構築していくかという話になるかと思います。それに合せて8年という期間で作っていただくということは非常に合理的ではないかと思います。ただ、強いて問題を挙げるとすれば、長くなれば長くなるほど、弛んできますので、その都度検証を行っていただいて、目標に向けて着実に進んでいただく必要があるかと思います。

(議長) ありがとうございます。まさに今おっしゃられた通りですので、弛まないように進めていただきますようお願いいたします。

(委員) 前段階ではインバウンドを組み込むようなことが書かれていましたけど、それについての目標・計画が無いような気がしますので、公共交通を使ってどのように知立市を魅力ある街にしていくというのを、分かるような形で載せていただきたいと思います。

(事務局) 確かに観光関係の事を書かさせていただいておりますが、それに対する目標や設定については、今のところ無いものですから、今後検討させていただいて、目標やアクションプログラム等あれば入れさせていただきたいと思います。

(委員) 現状維持かもう少し使っていただきたいという形で計画を作っておられるかと思いますが、これから人口が減少していきますので、公共交通全体を維持するにはインバウンドを入れていかないと、うまく回っていかないとということもあるかと思います。ぜひとも良い目標を早めに作っていただいて、入れていただければと思います。観光資源をうまく使っていただくと良いかと思います。

(議長) ありがとうございます。現状、観光で来訪される方について他の部署の管轄かもしれませんが、把握されていますか。

(事務局) 私どもの手持ちの中で、その数字が分かるものは何も持っておりません。ですので、再度確認させていただきながら、良い連携が取れば、話をさせていただきたいと思います。

(議長) よろしく申し上げます。目に見えるような具体的なものが書かれてくると良いと思います。

(委員) 13ページの目標値の設定において現況値が2016年度の数値が入っていますが、今の時期でしたら2017年度の数字も出ていますし、10年後と比較するということになれば、実績値も新しい数字が入った方がいいのかなと思いました。また15ページの表について、その他の欄は有償運送について表しているかと思いますが、ここで高齢者という言葉が出てきています。この高齢者とはどういった高齢者を指しておられるのかと思いました。後期高齢者の無料パスを発行し利用していただこうだとか、バスに乗れない方はタクシーに乗っていただこうだとかあるかと思いますが、福祉有償運送にな

ってくると、単に高齢者という方は乗れませんので、どういう整理での高齢者なのか気になりました。

(事務局) ここは福祉有償運送の実施している内容が記述されていますので、高齢者という記述は削除させていただきたいと思います。

(議長) 13ページの現況値についてはいかがでしょうか。

(事務局) 年度末に最終的な計画が出来上がってきますので、手に入り次第最新の数字に修正させていただきます。

(委員) 現況値が2016年、今から8年経ちますと団塊の世代も80歳を迎える頃に差し掛かってきますので、その辺りも盛り込んでいただいた方がいいのではないかと思います。

(事務局) 高齢化が進むというのは、当然考慮すべきことかと思えます。例えば7ページの上の図になりますが、バスの利用者数をまとめたものになります。私どもも経過的にデータを取っておりますので、そういったものを加味しながら、目標値を設定させていただきたいと思えます。

(議長) 団塊の世代という言葉が出てきましたが、そういった方々が80歳代になったときにおそらく車を降りないかと思えます。車に乗り続けてきた男性の高齢者はバスに乗りたがらない傾向があります。そういった様々な課題がありますので、整理させていただきたいと思えます。

(委員) 16ページでは「公共交通ネットワークの再編方針」について、方向性を表したピンク色の表がありますが、上から鉄道、バスと共に幹線という扱いかと思えますが、鉄道とバスを分けた理由というのは考えがあってのことですか。また中部空港アクセスバス及びのくだりの中で、主要集客施設へのアクセス利便性を確保しますと記載があります。これはコミュニティバスの役割かと思えますが、ここに書いてあるということは、市外の集客施設へのアクセスを考えていることですか。

(事務局) 鉄道とバスを分けたことについては、15ページで機能を分担させていただいております。公共交通軸の中で鉄道が担う部分、バスが担う部分ということで分けさせていただきました。ここでいう主要集客施設とは、空港アクセスバスでいうと中部国際空港、愛教大線につきましては愛教大などの主要施設への利便性の確保と捉えていただければと思えます。

(議長) 20ページ以降には、知立市でも既に行われている取組も含めて、他市町で実施されている具体的な取組が掲載されていますが、いかがでしょうか。

(事務局) このページについて紹介させていただきます。20ページの上の段になります。湖西市の取組になりますが、これは市のホームページや広報等で夏休み期間中に「この遊び場にはバスでこういう行き方がありますよ」というように事例を含めて紹介させていただいている例になります。これにつきましては、夏休みの中学生無料乗車の場合、プールの利用時間帯に合わせて、バスの時間を紹介するやり方もあるかと思しますので、参考にさせていただきたいと思います。下の段はバスロケーションシステムということで、知立市のミニバスですが、道路状況によってどうしても遅延が生じてしまいます。今どこを走っているのか、あと何分待てば到着するのかとお客さんにとって不安になってくるということもありまして、バスが今どこを走っているのかをスマートフォン等で分かるというシステムです。バス待ちの不安解消のために今後実施していきたい内容ということになっております。

21ページにつきましては、私どもが取り組んでいる夏休み中学生無料化や高齢者の無料乗車、免許返納者への無料乗車券の配布になります。夏休み期間の中学生は生徒手帳を提示すると、運賃が無料になります。免許自主返納者に対しては、65歳以上から2年ごとの更新で最長10年間も無料乗車いただくことができます。75歳以上になると後期高齢者の無料乗車に切り替わっていくというやり方をさせていただいております。

22ページにつきましては、利用者の掘り起こしを目的とした乗り方教室を挙げさせていただいております。またイベントへの参加を通じてバスのPRを進めていきたいと考えています。乗っている方へのサービス・PRということで、バスの車内を利用したバスギャラリーを実施しています。中学生の子が描いた挿絵を添付した親子川柳を掲示させていただいております。こういった場を利用しながら、皆さんに興味を持っていただけるようなバスにしていきたいと思っています。

(委員) 特にバス事業者としては、安全で利用しやすい公共交通、サービスの充実というところは第一条件だと考えています。計画の中にも、利用しやすい公共交通のネットワークの形成ということで、結節点を考慮したダイヤ設定は今後取り組んでいくべきだと思います。ただ、ダイヤ関係については道路状況等にかかなり影響を受けるものですから、長期に渡る計画の中におきましても、柔軟な対応をお願いしたいところでございます。昨今の道路状況を踏まえましても、正しい運行計画が実施されているかという、維持しにくくなっている現状があるのが正直なところでございます。そういった中でも時間の管理ということで、労働基準法にやや問題が出てくるような部分も事業者の立場からすると、出てきているのも正直な部分でございます。具体的に言いますと、4時間運行した場合は30分の休憩をとりましょうというものです。こういったことが道路渋滞等によって、必ずしも維持できない状況が発生しうる場合もございます。そういったことを防ぐためにも、乗務員を交代させる等の対策を講じているのが現状でございます。ダイヤ的な部分をしっかり見直す機会を柔軟に検討していただければと思います。

実際にミニバスの運行に関しましても、前半、後半で2名の乗務員を運行しているのが現状ではありますが、そういった状況が起こりますと、より多くの乗務員を配置して運行していくことに繋がっていきますので、事業を円滑に維持していく意味では、適正

なダイヤ、適切な休憩時間が設定できるダイヤを作り上げるために、柔軟な見直しをかけていただきたいと思います。計画としては長いものではありませんが、このような状況が起きていることも含めまして、事業者の方からは柔軟な対応をお願いするものであります。

(事務局) ご指摘の通り、運行事業者からも非常に知立市のダイヤは厳しいということを伺っております。良い機会がありましたら、参考にさせていただき、ダイヤの見直しやタイミングの良い乗り継ぎ等、そういったことを考慮しまして変更していきたいと思っております。

(議長) 何にしても安全第一ですので、事業者さんが無理をするような状況にならないようにしていただきたいと思います。現状のダイヤの設定は3年に1度という状況で、事業者さんを選定したタイミングで時刻表を作って、それを3年間使っているかと思いますが、ご意見いただいたように柔軟に変えていけるような体制を取れば良いかなと思います。というのは今後も駅周辺では連続立体事業等で道路の状況も変わってくると予想されるためです。確かに時刻表等の印刷物を作り直さないといけない等、手間もかかる部分もありますが、本当に問題になっている部分があるとすれば、変えていくことを考える必要があるかと思っております。

(事務局) 若干の修正で対応できるダイヤ変更と、完全に見直しに近いダイヤ変更がございます。大きな見直しにつきましては、ある程度の期間を設けて行っていく必要があります。それに合わせて不都合が生じた細かい変更につきましては、対応は十分可能だと考えております。

(委員) ミニバスのハンドルを握ることもあり、ミニバスの降車について伺いたいことがあります。現在は知立駅の3番乗り場から発車して、3番乗り場もしくは4番乗り場に停車しています。知立駅に戻ってくると、時折4番乗り場には空港バス、3番乗り場には他のコースのミニバスもしくは豊田市のふれあいバスが停まっています、バスとバスの間で降車をしている場面もあります。目の不自由な方も利用されている中で、元々名鉄バスが運行していた頃は今の2番乗り場か待機場場で降ろしていたのですが、利便性を考慮して近くで降ろしてくださいと市からの回答がありましたので、現在の場所で降ろしています。そういった状況において安全面について考えると、隣の待機場場で降ろしても良いのか伺いたいです。

(事務局) 現在ミニバスの乗り場は3番乗り場を利用させていただいております。駅前広場の現状としましては、非常に狭くて混雑しているという状況は理解しております。現状ですと、やむを得ないのかなという認識でおります。現在実施しております連続立体交差事業や駅前広場の整備が終わりますと、駅前広場としましては現状の倍の広さの駅前広場になるということもございますので、今後の改善点としまして、利用のしやすい駅前広場の整備を今後努めていきたいと思っております。

(議長) 整備にまだ時間がかかるということもございますので、現状の中でできるだけ安全な運用の仕方をしていく必要がありますね。運転手さんから見てここで降ろせば安全だというような場所がありますか。

(委員) 元々はそこで降車をしていたのですが、やはり名鉄バスの1番乗り場、2番乗り場及び待機場です。

(議長) 現場の声ということで一度検討いただければと思います。

(委員) 利用促進策として挙げさせていただきます。1つは計画でも触れておりますが、観光振興についてです。知立市には知立神社等、全国的にも名の通った観光地がある中で、国内、知立市外の方や場合によっては外国人客がお越しになることもあるかと思えます。そういった中で、20ページでもバスロケについても記載がありますが、そもそも外の人にとってはコミュニティバスが走っていることも分かっていない場合があります。市のホームページを見ることはできますが、ミニバスガイドを外の人は持っておらず、情報に乏しい部分もあります。そのため、神社まで歩いていこうかという話にもなっているかもしれません。外国人も含めてほとんどの人がスマートフォン等を持っており、インターネットに接続できる環境がありますので、そういった環境をうまく利用していただくのが良いですね。一番良いのかは分かりませんが、グーグルマップですと、行きたい目的地を設定すると、知立駅からバスを利用した経路が表示されます。基本的に目的地までの情報を全く知らない人は、表示された情報を基に向かわれると思えます。ですので、市外の方に来ていただくにあたっては、そういったものに対応をしていく工夫が必要になってくると思います。名鉄バスさんは既に取り組みされているかと思えます。

あともう1点ですが、長い間自家用車に乗ってらっしゃった方がバスに乗らないという話がありました。意外と知られていないのが、高齢者の男の方はずっと自家用車に乗っていたため、バスの乗り方を知らないという方が多くみえます。いい年をして、今更バスの乗り方を人に聞けないということもあります。そのため、バスの乗り方を知らないで、当然バスに乗らない。バスに乗らないため、車を手放すと生活ができなくなるので、免許を返納しない。というパターンが1つあるように思います。22ページには小学生を対象とした乗り方教室が紹介されていますが、高齢者を対象とした乗り方教室を開いていただいても良いのかなと思います。市が上から乗り方教室を行いますので来て下さいよと言うのではなく、老人会等の団体があるかと思えますので、そういった所を主催としていただきまして、運行事業者が出向いて乗り方を教えていただくというのも良いと思います。住民参加型という格好になりますし、住民が皆さんでバスを利用していこうという意識の醸成に繋がっていくと思います。また老人会等で行われるなら、参加しようかと本人の動機付けにもなりますので、検討いただければと思います。

(事務局) グーグルマップ等の対応についてですが、23ページの(1)「利用者目線による分かりやすい情報の提供」の「③分かりやすい運行情報・乗継情報の提供」において「運

行情報のオープンデータ化」というところで、私どもも何とか取り組みたいなと思っております。また様々な乗り換えシステムがございますが、そこへの登録も積極的に進めていきたいと思っております。高齢者を対象とした乗り方教室については、委員の方にも今後ご相談させていただき、お誘いがありましたら積極的に参加させていただきたいと思っております。

(委員) 4ページの不満項目の中で、「バス停の待合環境」について数値が高いとご指摘を受けていますが、このバス停というのはどういった所のバス停を指していますか。単純に路線にあるバス停を指しているのか、結節点となる所のバス停という意味なのか、アンケートの中で分析されていますか。

(事務局) アンケートの中では、こういった項目を含めての不満があるものということですので、結節点か各バス停かというところは何も表記がございません。ただ、私どもが考える中では、当然各バス停も含まれていると思っております。毎年ベンチを設置できる箇所については設置をしていますが、今年のように暑い日が続きますと、待っているだけでも大変なものですから、今後考えていきたいと思っております。

(委員) 18ページの交通結節点の整備方針ということの中ではベンチ等について記載がありますが、対象となる結節点は各駅・市役所・公共施設・大規模商業施設という点で謳われている状況です。その中で言うと、各バス停という部分は、ここの部分において言うと入ってこないのかなと思えました。それと、23ページの中で(2)「利用促進を誘導する施策」の③「乗継・待合環境等の改善」において「駐車場・駐輪場の整備・充実」とありますが、交通結節点という観点から記載されているということですか。また一般のバス停において、駐輪場を隣接部に設けるといったことを示唆しているということですか。

(事務局) ここにつきましては、当然大きな駅だとかそういった付近での駐輪場の整備等を示唆しています。

(議長) 市民の方には発言を頂戴しておりますので、ご発言いただいている方に一言いただければと思います。

(委員) バス停の待合環境について、整っていない箇所もあるかと思っております。所属している会において、免許証を返納される方がいました。バスを利用する際に、待合室やベンチがあったら良いなと話していました。これからは全体的にベンチ等を設置していく予定はありますか。

(事務局) 全てのバス停にそういったものを設置できれば理想ではありますが、歩道の整備状況であるとか、場所によっては歩道も無いところもございます。歩道にベンチを設置するにしても、歩道を生かすための設置条件がございます。条件からして、ベンチが設置可

能な箇所が少なくなっています。逆に言うと、付いていない箇所で新たに設置できる可能性は薄いのかなというのが現状であります。

(市長) 設置できる箇所については、設置していこうという方向であります。物理的・条件的にできない箇所については難しいですが、可能な箇所であるならば検討させていただきたいと思います。

(議長) バス停のベンチについては、民地を使って設置しているものも見受けられます。地元の方々が捨ててしまうような、まだ使えるイス等を持ってきて置いたりするような例もあつたりします。地域の方々のご協力があれば、市が道路用地では設置できないような箇所に置けるようなこともあります。

(委員) 専門的なことについては分からない部分もありますが、ミニバスがまだ身近ではないと感じています。この間市役所から乗ってみました。乗った感じはとても快適で、また乗ってみたいなと思いました。待っている間に10分ぐらい過ぎて、出発してしまったのかなと不安になりました。少し遅れる場合がありますと書いてあれば遅れるものだと理解しますが、初めて乗った場合は全く分からなかったのも、もしかして出発したのかなと不安になった覚えがあります。また海外の方が何人か乗ってこられて、そういう点で、海外の方にも遅延等についての表記があれば良いなと思いました。

バスを利用した際にはアピタに行って、福祉の里の方に向かいました。運転手さんのアナウンスで福祉の里ではバザーが行われていることを知り、寄ってみようかなという気になりました。丁寧に教えていただいたことがとても印象に残っています。また4ページの愛教大線の満足度のアンケートについて、満足が比較的少なく、不満足が多い印象を受けました。想像ではありますが、いつも長い列を作っているため、快適に待つことが難しいのかなと感じました。

(事務局) 運転手さんの対応については、名鉄バスさん・大興タクシーさん共に親切に対応していただいておりますので、非常に感謝しております。ご指摘の通り、待っている方からすると、いつ来るのか、行ってしまったのかと不安になるということは私どもも理解しております。今回提案させていただいておりますのが、バスロケーションシステムというものでして、今どこをバスが走っているのか確認できるシステムを今後導入できればと思っております。

(委員) 愛教大線のお話でしたが、おそらく通学のピーク時の時間帯であると思います。7時半から8時半までの約1時間、改札前まで常時並ぶような状況がございます。バスの本数も実際には増便しながら対応させていただいてはいますが、車両や乗務員の数にも限りがありますので、非常に苦労しているところではあります。利用する学生は年間を通じて横ばいもしくは少し分散できている状況ではあります。その1時間の間は利用される方や住民の方も含めて、ご迷惑をおかけしています。今後も状況を見ながら、できる限り混雑が少なくなるように対応させていただきますので、よろしくお願

いたします。

ベンチの設置について、住民からのご協力というお話がございましたが、実際に家庭用のイスであるとかを持ち込まれているケースが名鉄バスのバス停においても見受けられます。最終的に朽ち果てる形で誰の物であるか分からないことがあります。市町村の土木担当にも問い合わせると、処分は難しいという問題も発生しているようなので、事業者であるとか市が設置をすることによって、特定の持ち主がはっきりとした状態で管理ができると思います。後々問題が発生することもあることを付け加えさせていただきます。

(議長) ありがとうございます。地元がきちんと責任を持てるなら良いのでしょうか。愛教大線は乗っている人や目的が異なることや幹線であることから、単純に他の路線と比べられないかもしれないですね。

それでは、協議事項ということで公共交通網形成計画の3章から7章について協議いただきました。おそらく今後最終的な計画書としてまとめていくにあたって、今日いただいたご意見を反映させるだとか、修正していく部分があるかと思いますが、概ねこういった内容や方針でよろしいかというところを皆さんにご審議いただきたいと思います。この素案に賛成いただける方は挙手をお願いします。

(委員) (全員挙手)

(議長) ありがとうございます。全会一致で賛成いただけたということで、事務局でさらに続きの部分も含めて計画策定を進めていただきたいと思います。それでは、協議事項(2)住民懇談会の開催について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料4に基づき説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。昨年度に続き2回目の住民懇談会ということですが、今年度は主に網形成計画の策定についてご紹介いただく内容となっていますね。具体的な内容については、今後詰めていくということです。

(委員) 日付の設定にあたっては、他の自治体であった例を挙げさせていただきます。他に住民参加型の行事があった日に懇談会を設定してしまったことがありました。結果、いくつかの地区からは全く人が来ないという事態が起こってしまいました。事前に調整いただく必要があると思います。

(事務局) 参考にさせていただきます。他の行事と重複のないようにさせていただきますと思います。

(議長) 現在は11月頃を予定されていますか。

(事務局) 11月頃を予定ということで考えております。日程が決まりましたら、委員のみなさんにもご案内を差しあげます。

(議長) 他によろしかったでしょうか。細かい内容については、事務局で検討していただくということで、住民懇談会を開催していくことについてご審議いただきたいと思います。賛成いただける方は挙手をお願いします。

(委員) (全員挙手)

(議長) ありがとうございます。事務局で内容を詰めていただきたいと思います。それでは、議題としては以上になりますので、進行を事務局にお返しします。

(司会) ありがとうございます。5.その他についてですが、3点ほど報告事項がございますので、よろしくをお願いします。

5.その他

(委員) 【中部地区バス運転士合同就職説明会チラシに基づいて説明】

(司会) ありがとうございます。続きましてよろしくをお願いします。

(委員) 【女性限定バス運転体験会チラシに基づいて説明】

(司会) ありがとうございます。事務局よりも1点ございますので、担当よりご説明します。

(事務局) 前回の会議でご案内させていただいたナビゲーションシステム「NAVITIME」についてです。ミニバスについても運用が始まりました。時刻表が検索できるだけでなく、現在地から近いバス停を割り出すこともでき、非常に便利なものとなっています。是非ご活用いただければと思いますので、よろしくをお願いします。

(司会) 最後に市長よりお礼のご挨拶をさせていただきます。

(市長) 忌憚の無いご意見・ご指導いただき、地域公共交通網形成計画の素案を作成させていただくことができました。ありがとうございます。バスの運転手さんを確保していただくことで公共交通が成り立つ訳でございます。行政としても、どのようなことができるか検討させていただき、バスの運転手さんが確保できるように考えてまいりたいと思っています。

今回の会議において、地域公共交通網形成計画の素案を協議していただきました。人口が減少していく中で持続可能な公共交通にしていくために、市外から人を呼び込んでいくことは大事な視点だと考えています。併せて8ヵ年の計画として実施させていただくわけ

ですが、実績については常時、皆様方にご報告させていただきながら、実績を積み重ねて8年後の目標達成に向けて、着実に進めてまいりたいと思っております。最後になりますが、4ページの満足度のアンケートにおいて、運転手の対応についての評価が高く、市民の方々にご満足いただいていると感じました。まさしく事業者様のおかげでございます。度々、運転手さんの丁寧な対応を見させていただいております。これからも安全に運転していただくことが何よりでございます。出来ることとしては、柔軟に対応していきたいと思っております。また、停留所の環境についても、事業者さんにお話を伺いながら、対応させていただきたいと思っております。これからも皆様方にご支援・ご指導いただきながら、取り組んでまいりたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

(司 会) それでは、本日の総合公共交通会議は終了となります。本日はお忙しい中、また長時間にわたり誠にありがとうございました。